

母子ふるさと感謝祭（児童会行事）

一年間お世話になった地域の方に、感謝の気持ちを伝えたい！地域の方との交流を深めてみんなを元気にしたい！・・・そんな思いで始まった『母子ふるさと感謝祭』は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止した2021年・2022年を除いて、今年で4回目を迎えました。

1. 「母子ふるさと感謝祭」に向けての全校児童会

令和4年12月16日（金）の2校時に、ふるさと感謝祭に向けての全校児童会を行いました。地域の方に喜んでもらえるように各学年から、企画やアイデアを出し合って話し合いを行いました。高学年の子どもたちを中心に児童会の準備を行いました。出しものやゲームの内容など、事前にクラスで決めておいてほしいことを児童会便りでお知らせし、意見を持った上で、全校児童会を行いました。全校児童会当日、高学年の児童が司会や黒板書記、ノート書記の役割に分かれ、進める姿に大変頼もしく感じました。普段の算数のガイド学習が他教科にも活かされていました。



1～6年生が参加



1年生も発表！



黒板書記をしています

全校児童会を受けて、各学級で「感謝タイム」や「交流タイム」に向けての準備を行いました。生活科や総合的な学習でお世話になった方や地域の方への感謝の気持ちを、伝えられるように工夫し練習を重ねてきました。また、「飾り付け」や「校長先生へのあいさつの依頼」「BGM」「交流タイムのゲーム」「金メダル」など、ふるさと感謝祭に向けて分担した役割を各クラスで準備しました。

1. 「母子ふるさと感謝祭」当日

令和5年2月4日土曜日に「母子ふるさと感謝祭」を行いました。当日の気温は氷点下と寒く、「たくさん来てくれるかな」と心配をしていました。しかし当日、区長さんをはじめ、民生児童委員さんや小野の駐在所さん、地域の方、育友会の方など予想を超える方々に集まっていただきました。地域の方と笑顔があふれる素敵な時間を、ともに過ごすことができました。地域の方が喜んでくださる姿は、子どもたちの喜びや達成感にもつながっています。改めて、たくさんの方に母子小学校が支えられていることを実感した一日でした。たくさんご参加いただき、本当にありがとうございました。



受付や音響（BGM）など、自分たちの役割を工夫しながら積極的に動いていました。この積み重ねが大切です。

(1) 交流タイム

①爆弾ゲーム（低学年担当）

参加者全員に輪の形に座っていただき、アラームを〇分にセットした時計を入れたものを回していきます。アラームがなったら爆弾が爆発したことになります。



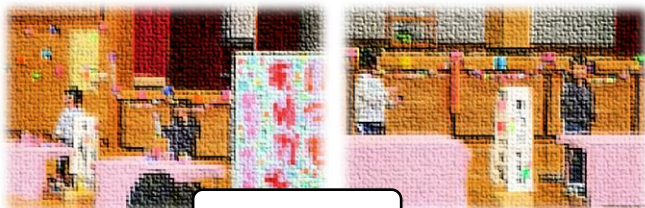
②ビンゴゲーム（中学年担当）

だじゃれをビンゴにしたゲーム。ビンゴになったら金メダルをもらうことができます。

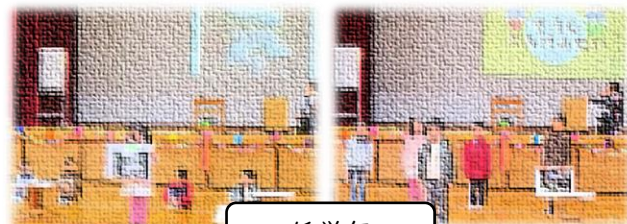


(1) 感謝タイム

幼稚園さんから低学年、中学年、高学年へと順番に、今年一年の学習の取組と感謝の気持ちを地域の方に伝えました。



幼稚園



低学年



中学年



高学年

今年も母子小学校体育館で、笑顔と熱気に包まれる素敵な会を催すことができました。